



SDGs（持続可能な開発目標）は、美しく、誰もが安心して暮らし続けられる社会をめざし、世界みんなで取り組む目標です

# 長野県と都市部が連携した豊かな森づくり ～森林環境譲与税活用のご提案～

長野県林務部 森林経営管理支援センター  
井出 政次



白馬村八方池



1998長野オリンピック会場  
エムウエーブ（長野市）  
信州カラマツ利用施設





## ○森林面積

- ・ 106万 h a (全国第3位)
- ・ 森林セラピー基地 10か所 (全国第1位)

## ○自然公園

- ・ 登中部山岳国立公園など 14自然公園
- ・ 公園面積 28万 h a (全国第3位)

## ○温泉数

- 1位 北海道244箇所
- 2位 長野県225箇所

# 森林環境譲与税とは？

Q: 森林環境譲与税の開始時期は？ A: 令和元年度からスタートしました。

- 令和元年度からスタートした森林環境譲与税は、市町村への配分の50%を民有林面積、20%を林業従事者、30%を人口で配分されます。
- 譲与された税は、森林の整備等に活用し、用途については市町村で公表する必要があります。
- 課税開始時期 令和6年度、税率 年額1,000円(国内に住所を有する個人)

Q: 譲与税は何に使えるの？ A: 森林整備等の財源として使用できます。

- ① 森林整備
- ② 森林整備を担うべき人材の育成
- ③ 森林の公益的機能の普及啓発
- ④ 公共施設等への木材の利用



# 長野県の森林・林業について

## 〈特徴〉

- ✓ 本県は全国有数（森林面積第3位）の森林県であり、森林面積は県土の約8割を占める106万ha
- ✓ 民有林の人工林率は約5割で、このうち約5割がカラマツが占めています。
- ✓ 過去は、**首都圏・中京圏から近い立地条件**から、建築用材、港湾用の杭などを供給していました。
- ✓ 近年は、木材需要の低迷等により、間伐等が遅れた森林や主伐・再造林が必要な森林が多くあります。
- ✓ 林業振興に取り組む森林では、林業の成長産業化を図るため、原木生産体制の低コスト化や**木材の需要拡大**を進めています。
- ✓ 山村地域では、地域の森林資源を活かした森林セラピーなど森林と観光・環境・教育・健康等、森林の多面的な機能を結び付けた新たな産業を創出し、**都市と山村との交流の促進**を進めています。



赤沢自然休養林は、「森林浴」発祥の地  
(上松町観光協会HPより)



「黄金色に輝く」(小諸市)  
(カラマツ黄葉写真コンテストHPより)

# 森の国 信州から 7 つの提案

## 森を守り・育てる

- ① 市町村、財産区の森林整備支援
- ② カーボン・オフセット（J-クレジット）



## 森を活かす

- ③ ウッドスタート（木製誕生祝い品配布）
- ④ 都市に森を創る（都市部の木質化）
- ⑤ 木の香る学校づくり



## 森に学び・親しむ

- ⑥ 森の学校（森林林業体験）
- ⑦ 森林セラピー体験





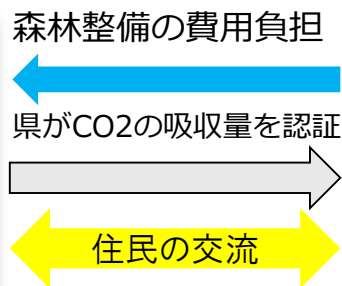
# ① 市町村、財産区の森林整備支援



検索ワード：森林の里親促進事業 森林CO2吸収評価認証制度

## 〈提案の内容〉

- ✓ 長野県には、77の市町村があり、大半の市町村には市町村や財産区が管理している森林があり、この森林に対し支援をいただくと森林整備を行ったことになります。
- ✓ 長野県では「森林の里親促進事業」により、平成15年より累計で138者の会社や自治体と森林の里親契約を長野県が仲介役となり締結した実績があります。
- ✓ 間伐などの森林整備で吸収したCO2（二酸化炭素）を長野県が認証する仕組みがありますのでCO2吸収量の公表ができます。
- ✓ 森林の里親契約の内容は様々な形がありますが、例えば費用負担に加えて都市部住民の方が森林整備の一部を体験したり、地域の温泉施設の割引サービスなどの特典も考えられます。



## 〈参考経費〉

ご参加いただける自治体の希望に応じた内容を提案します。

例)

年間200万円を5年間支援頂いた場合皇居と同じくらの面積が整備できます。



## ② カーボン・オフセット（J-クレジット）



検索ワード：根羽村森林組合 木曽町 J-クレジット

### 〈提案の内容〉

- ✓ 森林整備（植栽・間伐等）により増加した二酸化炭素などの温室効果ガス吸収量について、国（環境省、経済産業省、農林水産省）が運営するJ-クレジット制度の認証を受け、クレジットの販売を行っています。
- ✓ 県内では、下伊那郡根羽村と木曽郡木曽町で森林整備によるJ-クレジットを販売しており、購入されたクレジットにより、大型イベントや庁舎から排出される二酸化炭素をカーボン・オフセットすることが可能です。



### 〈参考経費〉

根羽村森林組合  
16,200円/ t -CO2  
木曽町  
16,200円/ t -CO2



〈木曽町認証書贈呈式〉



〈根羽村認証書贈呈式〉

# ③ ウッドスタート



検索ワード：ウッドスタート 東京おもちゃ美術館

## 〈提案の内容〉

- ✓ ウッドスタートとは、東京おもちゃ美術館が展開している「木育」の行動プランです。
- ✓ この活動は、「木」を真ん中に置いた子育て・子育て環境を整備し、子どもをはじめとする全ての人たちが、木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らしを送ることができるようにしていく取り組みです。
- ✓ 生まれた赤ちゃんへの長野県産の木製玩具の誕生祝い品としてのプレゼントや、子育て環境に地域材をふんだんに取り入れる空間木質化などを東京おもちゃ美術館と協力し提案します。



Declaration company of  
**Wood Start**  
ウッドスタート宣言

## 長野県内のウッドスタート宣言自治体

- ・信濃町
- ・塩尻市
- ・大桑村
- ・木曽町
- ・佐久穂町



## 〈参考経費〉

年間出生数100名で  
約150万円～

## ④ 都市に森を創る（都市部の木質化）



検索ワード：信州木材認証センター 長野県産材販路開拓協議会

### 〈提案の内容〉

- ✓ 健全な森（人工林）は、「植えて」「育てる」「収穫する」「適材適所で使う」のサイクルが重要です。
- ✓ 木材を都市部で使用することは、成長の過程で吸収した二酸化炭素を固定し、地球温暖化防止に貢献します。
- ✓ 本州の中心にある長野県には、信州カラマツや木曽を代表するヒノキ、南信州のスギ、安曇野のアカマツ、北信州のナラ（広葉樹）など多様な樹種の製品を提案できます。
- ✓ 木材は自然素材で「一定の品質基準を満たした信頼のある製品」が重要です。木材関係団体で組織された「信州木材製品認証センター」が木材の品質を認証していますので安心して使用できます。
- ✓ 施設での心身の不調やけがについて調べたところ、木材がたくさん使われている施設の方がインフルエンザやけが、不眠などの発生率が低いという調査結果が出ました。
- ✓ 長野県から公共施設などに木のある快適な空間づくりを提案します。

### 特別養護老人ホームにおける入居者を対象とした 施設の木材使用度別の心身不調出現率比較

| 入居者の心身不調の内容    | 対入居定員比(%) |            |
|----------------|-----------|------------|
|                | 木材使用の多い施設 | 木材使用の少ない施設 |
| インフルエンザ罹患者     | 16.2      | 21.4 ※     |
| ダニ等でかゆみを訴えた入居者 | 4.4       | 5.4        |
| 転倒により骨折等をした入居者 | 8.0       | 12.1 ※     |
| 不眠を訴えている入居者    | 2.4       | 5.3 ※      |

林野庁HPより参照（資料：全国社会福祉協議会「高齢者・障がい者の心身機能の向上と木材利用-福祉施設内装等効果報告書」）

# ⑤ 木の香る学校づくり

検索ワード：アカマツフローリング 木育全国生産者協議会

## 〈提案の内容〉

- ✓ 木材は、やわらかで温かみのある感触、高い吸湿性などの優れた性質を持っており、この性質を活用した木造校舎や、内装に木材を使用した教室等は、豊かな教育環境づくりを行う上で大きな効果が期待できます。
- ✓ 木材の使用は、地球温暖化防止への貢献、地域の文化の継承などの観点からも、大きな意義があります。
- ✓ 2018ウッドデザイン賞の最優秀賞を受賞した江東区有明西学園は、長野県の長和町の企業が製造した信州カラマツの「燃エンウッド」を活用して建築されました。これを契機に、今年から児童が林間学校として長和町で植樹活動を開始します。
- ✓ 製品や木材の供給はもとより、その後の林間学校などの提案も可能です。



針葉樹の無垢フローリングは、柔らかさの反面、傷が付きやすいですが圧密加工をすることで広葉樹と変わらない硬度になります。



「木かべ」で手軽に内装木質化

## 〈参考経費〉

「材料費のみ」

信州あかまつ圧密フローリング  
52,000円/坪

木かべ（6×60×30枚）  
10,584円



## ⑥ 森の学校（森林・林業・信州ジビエ体験）

検索ワード： 長野県自然の家 やまぼうし自然学校 信州ジビエ 森のライフスタイル研究所

### 〈提案の内容〉

- ✓ 長野県には、多くの自然の家といわれる宿泊可能な研修施設があり、森林の果たす役割を直に感じたり間伐や植栽、保育といった林業を体験することにより、森林の大切さの理解や木材利用の促進につながります。
- ✓ 増えすぎて森林や農地に大きな被害を与えているニホンシカやイノシシをジビエ料理などに有効に活用する狩猟（ハンター）体験を通じ、自然環境を守ることの意義を学べます。
- ✓ 具体的な「森の学校」の企画については、一般社団法人長野県観光機構と共同でバスの手配から宿泊施設、体験内容、インストラクターなどを一括して提案することが可能です。



まずは… **お試して 1 回実施してみませんか？**

県が「1 回お試し」という前提で、地域の選定や指導者の紹介などを行います。気軽な気持ちで、まずは親子、教員、関心のある方々を対象に、実地で森林体験などを実施してみませんか？

### 〈参考経費〉

ご参加いただける自治体の希望に応じた内容を提案します。

事前相談（大まかで結構です）

希望する時期、内容、地域など

受入れ候補の市町村の選定

受入れ市町村の決定

お試しの実施

信州ジビエは、たんぱく質が多く、脂質は少なく、鉄分やカルシウムが豊富



# ⑦ 森林セラピー体験



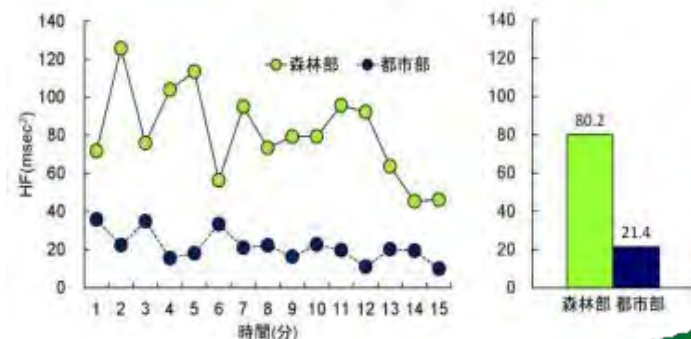
検索ワード： 全国一の森林セラピー県ながの 森の癒し

## 〈提案の内容〉

- ✓ 森の癒し機能を活用してストレスの解消や健康増進等の活動を展開するための「森林セラピー基地」・「セラピーロード」として、全国で64箇所が認定を受けています。このうち、県内では10箇所が認定を受け、全国に誇れる森林セラピーのメッカとしての注目を集めています。
- ✓ 長野県では、森林セラピーをヘルスケア産業・ヘルスツーリズムの一環として位置づけ、部局間連携による取り組みを推進しています。
- ✓ ストレスの多い現代、森の癒し機能を体験するための住民向け・企業向けツアーについて、一般社団法人長野県観光機構と共同でバスの手配から宿泊施設、体験内容、インストラクターなどを一括して提案することが可能です。



神経系：森林セラピーにより、副交感神経活動が4倍もリラックス（千葉大・森林総研）



森林部ならびに都市部における歩行時のHFの変化  
(平均値、N=5-8、歩行15分間のデータ)



# 事例紹介

# 長野県上松町と愛知県豊明市との連携事例

- 木曽川の上下流としての交流をきっかけに愛知県豊明市の譲与される森林環境を活用し、長野県上松町の職人が作った木の木製玩具や食器を豊明市の新生児に贈る「ウッドスタート事業」を8月から開始

## 木工品で友好深める

愛知・豊明市の新生児に活用 上松町、業者に祝い品発注



や玩具。小浮市長と大屋町長は「木の良さを  
知ってもらいたい」と期待する上松町で

上松町の職人が作った木製玩具や食器が、同町の友好自治体の愛知県豊明市が新生児に木工品を贈る「ウッドスタート事業」に活用される。両市村は木曽川上下流域として交流を続けていることから、豊明市は本年度からの森林環境譲与税で費用をまかない、木材利用促進や上流域の木工業振興を図る考えた。

祝い品を作るのは上松町内の三業者。いずれも同町にある県技術専門校卒業の職人が制作する。木工品はベビースプーン、玩具の「にぎにぎカタカタ」、四角い盆や箸などを合わせた「お食い初めセット」の三種類。八月からスタートし、月ごとに贈る種類を変える。

豊明市が、窓口の上松町に木工品を発注。その月の製品担当の事業者は上松町から連絡を受け、両市町の

メッセーシカードを添えて製品を豊明市に送る。製作費は市が事業者に払う。

豊明市は、出生手続きの際に対象者に祝い品を贈る。一年間で約六百人の出生を見込み、月五、六十個を発注する予定という。

昨年、上松町が町民を対象にウッドスタートを始め、豊明市に事業導入を提案。森林環境譲与税の制度が四月から始まったのを機に、同市も取り組むことを決めた。

二日に町公民館で記者会見した豊明市の小浮正典市長は「事業を通じ、上流域の上松町への感謝を示すことができる。森林が少ない都市部の自治体が、森林環境譲与税を活用する一つのあり方でもある」と語った。

上松町の大屋誠町長は「下流域の子どもたちに木の良さを知ってもらいたい」と語った。

い。さらに長く、友好を深める機会にしたい」と話している。  
(近藤隆尚)

# 都市部の木質化事例

## 【長野駅・飯山駅 工事期間中の仮囲い】

- ・ 工事用仮囲いに県産スギを使用
- ・ 期間：平成25年～26年
- ・ 鉄板やプラスチックを木材へ転換する取組としてP R
- ・ 事業主体：NPO法人CO2バンク推進機構



## 【中央自動車道伊那 I C 木製遮音板】（南箕輪村）

- ・ カラマツ製及びスギ製の遮音板
- ・ 反射タイプ、吸音タイプ等、試験的に設置
- ・ コンクリートからの木材への転換をP R
- ・ 事業主体：長野県産材販路開拓協議会
- ・ 完成：平成26年度



# 都市部の木質化事例

## 【Wooden Sustainable City Suwa プロジェクト】（諏訪市）

- ・ 自転車を主体とした ものづくり、まちづくりの取組
- ・ サイクリスト休憩施設（コンテナサイクルステーション）に 県産材を使用
- ・ 木製自転車やキックバイクを製造し P R
- ・ 完成：平成 2 5 年度



## 【銀座NAGANO】（東京都中央区） 完成：平成 2 6 年度

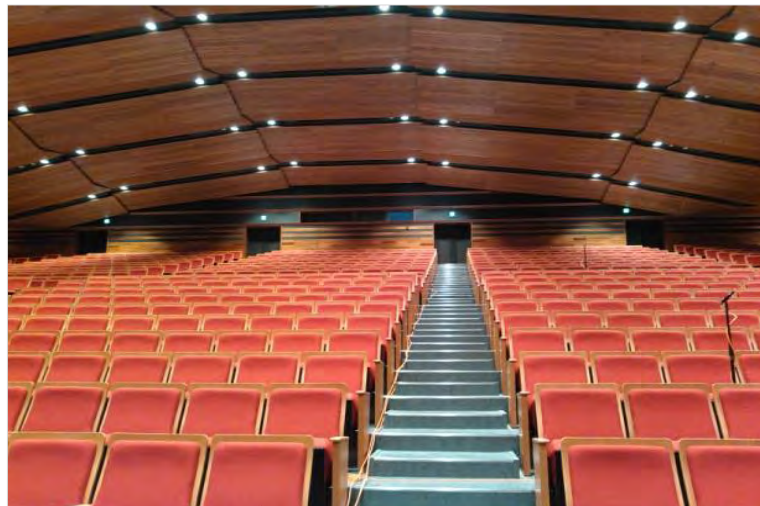
- ・ 1 F の陳列棚すべてにカラムツを使用
- ・ 2 F のフローリングにミズナラを使用
- ・ 4 F のパーティションにカラムツ、スギを使用
- ・ 首都圏の消費者等に向け県産材を P R



# 都市部の木質化事例

## 【成城学園 記念講堂】（東京都 世田谷区）

- ・ 長野県産カラマツで大規模改修
- ・ 天井板と壁板に使用
- ・ 使用量（カラマツ準不燃材） 39m<sup>3</sup>
- ・ 県と学園との連携協定に基づく事業の一環
- ・ 完成：平成26年度



## 【しなの鉄道観光列車「ろくもん」】

- ・ 観光列車3両の内装にスギ、ヒノキ、カラマツを使用
- ・ デザインはJR九州デザイン顧問の水戸岡鋭治氏
- ・ 観光客へ広く木材の魅力をPR
- ・ 他素材を木材に転換する象徴的事例としてもPR
- ・ 完成：平成26年度



# 「伊那市と新宿区との地球環境保全のための連携に関する協定書」に基づく事業の取り組み

平成21年度から新宿区が伊那市で森林整備認定されたCO<sub>2</sub>削減量を新宿区での排出量と相殺（CO<sub>2</sub>吸収認定量 約3000t-CO<sub>2</sub>/年）



**実施年度** : H21～30  
**間伐面積** : 246.83ha  
**作業道延長** : 16,885m



# 森林体験の場としての利活用

H21.5.30に「新宿の森の使用に係る協定」を締結し、伊那市ますみヶ丘平地林に約0.4haの「新宿の森」を開設し、新宿区のエコツアーや小学校の移動教室等で森林体験の場として利活用

## ◆「自然体験ツアー」

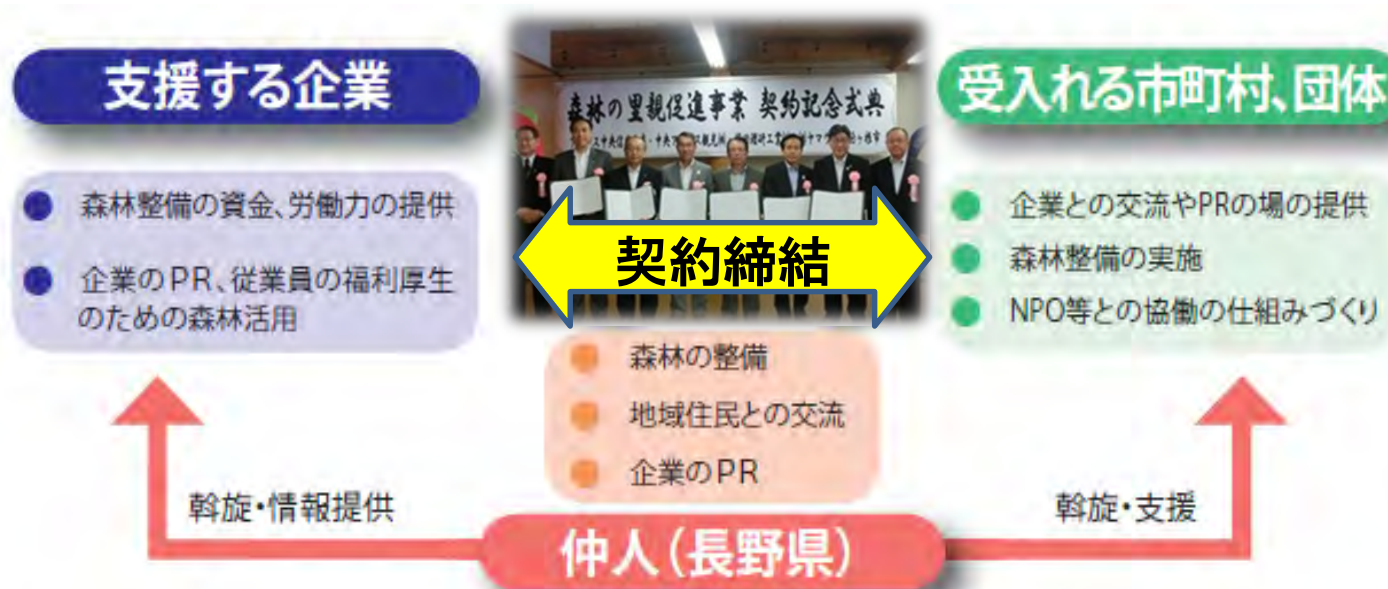
新宿区によるネイチャーガイドツアー、間伐体験等  
毎年約40名の参加「わくわく森もりイベント」を開催



# 森林（もり）の里親促進事業

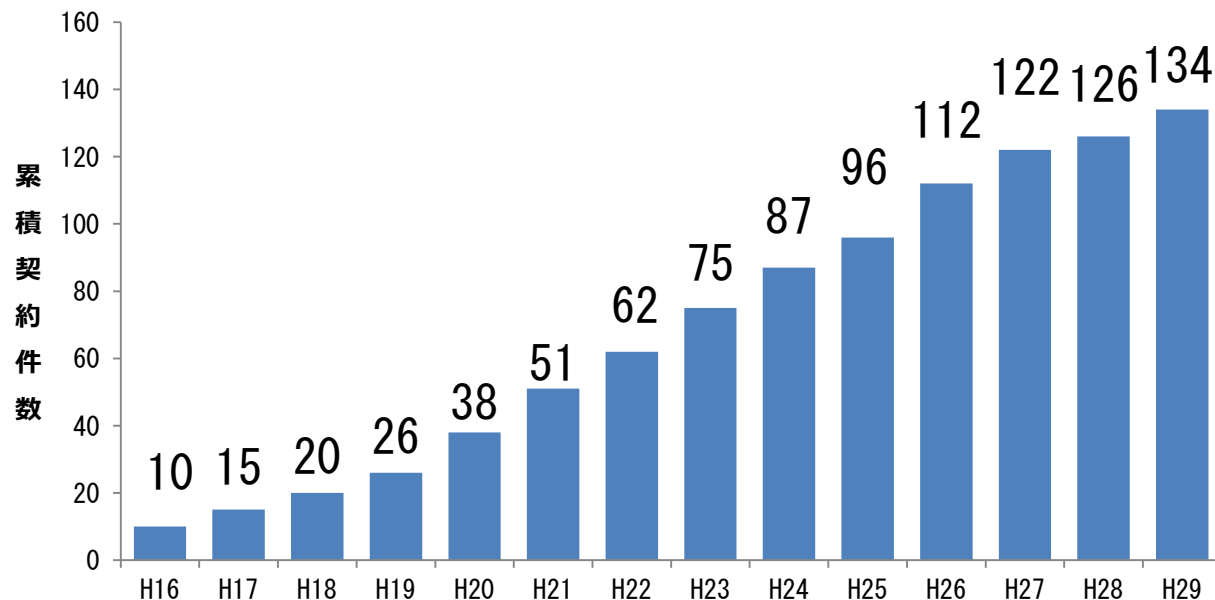
## ■ 事業概要

- 企業等の皆様に、長野県の森林整備を、ご支援いただきながら、地域交流・地域振興を図る事業
- 整備された森林はCO2吸収評価認証制度の活用も可能
- 長野県は、両者をつなぐ仲人



# 全国有数の取組実績

## 森林（もり）の里親契約実績（累積）



平成29年度 森林の里親事業実績

| 区分     | 実績      |
|--------|---------|
| 活動参加人数 | 7,131   |
| 森林整備面積 | 183ha   |
| 支援金額   | 4,040万円 |

- 16年の実績
- 134件の契約(全国トップクラス)
- 首都圏の企業42者が支援

# この事業で行っていること

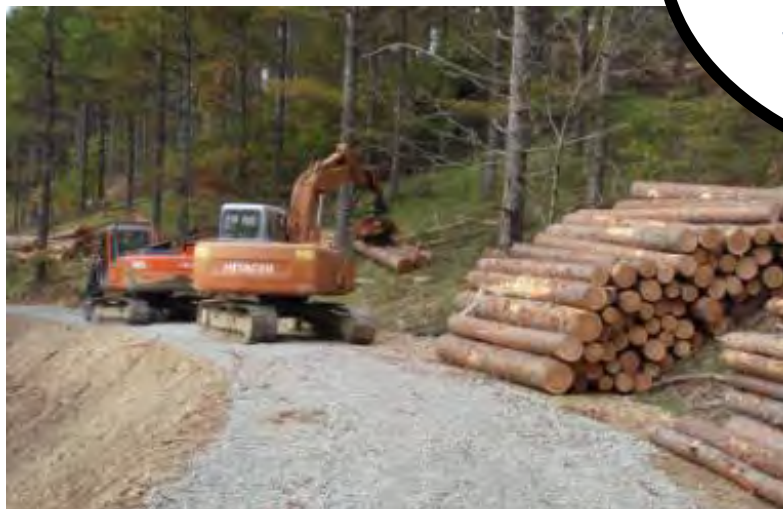


顧客との共同作業



家族を交えた作業体験

**企業の社会貢献  
社員の体験・研修  
地域との交流も**



支援金による森林整備



社員研修

# 長野県が市町村と共に推進します

- 里親と里子双方の意向に沿った仕組み。
- 森林整備の技術的な指導。
- 事業実施にあたって企画段階からの支援。
- プレスリリースなど長野県を通じたP R。



# 森林セラピー県ながの

## ～信濃町癒しの森～

## 森林メディカルトレーナー

森林メディカルトレーナーは利用者と一  
緒に森に入り、森林療法や健康チェック  
、免疫療法等を行う。全国的に認定せ  
れている  
森林セラピストの見本となっている。



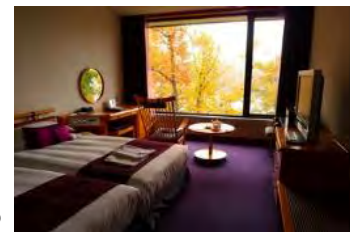
## 都市部の企業との連携

都市部企業と町が提携し、保健事業（メンタルリスクマネジメントやメタボ対策）や健康保険組合を通じた福利厚生事業、そして研修事業などで利用拡大を推進。

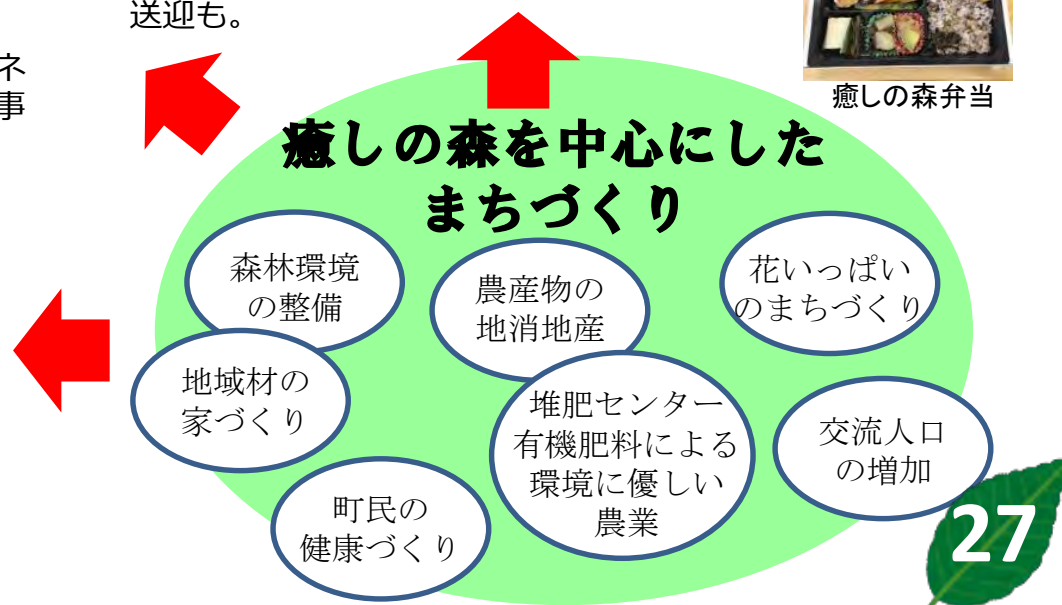


## 癒しの森の宿

アロマオイルの利用にハーブティー・  
薬草茶などを静かな環境の下で提供。  
食事には、地元の朝採り野菜、山菜・  
きのこ、薬草に郷土食材を使い心から  
癒されおもてなし。またアレルギーや  
各症状に合わせた配慮。関連施設間の  
送迎も。



癒しの森弁当



# 森林セラピー県ながの

～森林浴発祥の地 上松町～



## 上松町と県立病院機構・木曽病院との連携

毎週水、木、金曜日は「森のお医者さん」を開催。  
医師、保健師、看護師等医療知識のあるスタッフによる健康相談。

森林セラピーを核とした関連する産業との連携を  
強化するためのコーディネーターの育成研修



「医師と歩く森林セラピー」、  
「森林セラピーブック」を実施



## 長野県森林セラピー基地等協議会

ワーキング方式による検討

地域

県  
・林務  
・観光  
・健康  
・環境  
・産業

更なる魅力アップ

- ・プログラム開発
- ・必要な施設・機器の整備
- ・情報発信

県内各地域  
への展開

各セラピー  
基地

医療  
関係者

有識者

# 災害時に活用できる木材利用

## ○ 災害時の備蓄燃料としての利用

- ・ カラマツ備蓄燃料「燠薪（くんしん）」 南佐久中部森林組合
- ・ 「木ローソク」 大北森林組合

## ○ ショアリング 材としての利用

地震等の災害によりダメージを受けた建物の二次倒壊を防ぐため、木材等を使用し、支え安定化する技術





# 「キノハナ」プロジェクト（北相木村）





ヒノキ



カラムツ



クリ



パドック

私たちは、長野県の人口754人の小さな村“北相木村”で活動している「キノハナkinano」です。

2018年9月より村の女性を中心に立ち上がりました。

私たちの活動は、木を削った際に出てくる“かんなくず”を利用した木の花（キノハナ）制作です。

村の木工所から出る、「ヒノキ」「カラマツ」「クリ」などの“かんなくず”を利用して、バラやカーネーションのお花をひとつずつ手作りしています。花束やボックスアレンジは、フラワーアレンジメントの講師の方に指導していただきながら制作しています。

オリジナルデザインやイベント会場の装飾用も制作可能です。

新築祝いや、結婚式のプレゼント、イベント景品などに少しずつ利用していただき始めました。

4月から東京（銀座）にある長野県のアンテナショップ「銀座NAGANO」にて販売を開始していただきました。

小さな村で始めた、小さな活動を、少しずつ広げていきたいです。応援よろしくお願いします。

「キノハナkinano」に関するお問合せは

北相木村役場 坂本さん 電話：0267-77-2111

